

今年最後の記者会見となりましたので、市民の皆様には年末のご挨拶を申し上げます。市民の皆様をはじめ、メディアを通じて市政に対するご協力を賜りました報道各社、記者の皆様には厚くお礼を申し上げます。

令和5年は本市にとって様々な面で節目の年となりました。苫小牧が市制を施行してから75年、苫小牧港に第1船が入港してから60年、八王子市と姉妹都市盟約を締結してから50年、男女平等参画都市宣言を行ってから10年、そして苫小牧市美術博物館が開館してから10年を迎えることができました。この節目を契機に更なるまちの発展に向け、引き続き取り組んでまいります。

さて、本年も残すところ、僅かとなってまいりましたが、今年1年を振り返りますと、様々な出来事がございました。

新型コロナウイルス感染症につきましては、「日常の回復と変革への挑戦」をテーマに施策を展開しておりましたが、5月に5類感染症へと移行したことにより、経済活動が再開し、日常が戻ってまいりました。とまこまい港まつりやミライフストをはじめ様々なイベントが開催され、大勢の皆さんに楽しんでいただけたと感じております。この場をお借りして、感染拡大を防ぐため最前線でご尽力いただいた医療・介護従事者の皆様、さらには様々な要請にご協力をいただいた市民及び市内事業者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

2月には、千歳市に次世代半導体製造企業 ラピダス株式会社の工場建設が、また、11月には本市にソフトバンク株式会社のデータセンター建設が決定されました。本市にも大きな影響を与えるであろうプロジェクトであります。プロジェクトを地域の活性化につなげられるよう、関係各位と連携し取り組んでまいりたいと考えております。

4月には、ゼロカーボン×ゼロゴミ大作戦がキックオフとなり、11月には本市が脱炭素先行地域に選定されました。現在の様々な取組がより一層推進されるよう、市・事業者・市民が一体となり、2050年のゼロカーボンシティの実現に向け引き続き取り組んでまいります。

9月には、自動運転バスの実証運行を行いました。「とまこまい版MaaS構想」の策定に向けた取組の一つであり、苫小牧東中学校美術部の皆さんにもご協力いただいた車体が市内を走りました。今回の検証をもとに、スマートシティ実現への道筋を描いてまいります。

10月には、こども政策加速化会議を発足いたしました。市の各部署が連携し、国の加速化プランに示された施策を速やかに実施できるよう体制を整えたところでございます。

来年度にむけて医療費助成の方向性について示させていただいておりますが、子育て世代に手厚いまち「とまこまい」の実現に向け、各種取組の更なる加速に努めてまいります。

今年はスポーツ分野において複数の全国大会が本市で開催されました。1月の第95回日本学生氷上競技選手権大会フィギアスケー

ト及びスピードスケート競技をはじめ、7月には令和5年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス及びテニス競技、8月には第18回全国高等学校選抜アイスホッケー大会が開催され、多くの選手・関係者にお越しいただきました。

また、年明けの1月27日からは第78回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催となります。全国で初めてスポーツ都市宣言を行ったまちとして、大会の成功に向け取組を進めてまいります。市民の皆様には選手たちへの熱い応援をお願い申し上げます。

次に、岩倉市長の近況についてご報告いたします。

11月7日に市長が出張先の韓国で倒れ、関係各位をはじめ、市民の皆様には多大なご心配をおかけしております。

市長は12月9日に退院し、現在、自宅療養及びリハビリテーションに専念しているところでございます。

また、一部報道機関で、早ければ来月4日に市長が公務復帰するかなのような報道がありましたが、現時点でそのような予定とはなっておりません。

市長の公務復帰や職務代理者の解除につきましては、市長のリハビリの経過と回復状態を確認するとともに、市長本人とも相談の上、市からお知らせしたいと考えております。

この間、市長職務代理者として職務に当たらせていただいておりますが、山本副市長をはじめ、職員一丸となって市政運営に努めてまいりますので、岩倉市長の公務復帰に向けて、今しばらく、見守っていただけたら幸いです。

最後になりますが、皆様が良いお年を迎えられますよう祈念して、  
年末のご挨拶とさせていただきます。今年一年、本当にありがとうございました。

案件の説明は以上でございます。質問があればお受けいたします。